

関係者各位

1/4



作家名：杉本克哉

展覧会名：「YOU ARE GOD —Drop in the box—」

会期：2024年11月1日（金）～11月30日（土）

営業時間：11:00 - 18:00 [火 - 土] 日・月・祝 休廊（但し、11/23（土祝）を除く）

■トークイベント「芸術における宗教性」

日時：11月9日（土）16:00～17:30（レセプションパーティー～19:00）

ゲスト：近藤 光博（日本女子大学准教授・宗教学）、飯盛 希（美術批評家）

LOKO GALLERYでは初となる杉本克哉個展「YOU ARE GOD - Drop in the box-」を開催いたします。

杉本のモチーフは夥しい数収集している幼少期の記憶が宿ったおもちゃやミニチュアです。2020年に発表した箱庭シリーズの「YOU ARE GOD」に続き、今回の「YOU ARE GOD - Drop in the box-」ではく型はめおもちゃ>に使われている様々な形状の箱の中にミニチュアによる小世界が現出します。

その小世界の情景を砂つぶひとつも見逃さず、計り知れない時間をかけて精緻にキャンバスに描写するのはなぜなのか？「創造主は誰なのか」という杉本の宗教観からくる祈りが込められていると思わざるを得ません。

職業などを異にする9人の人たちが造る世界をひとつひとつ見ていくと鑑賞者もミニチュアのワンピースになって箱庭の世界に紛れ込んでいるかのようなインスタレーションによる展示も行います。

存在への投企(としてのリアリズム)

杉本克哉の絵画は、単に「写實的」なだけではなく、写實的に描くことの意味あるいは描くということ自体の意味をめぐる哲学的な態度に基づいていると言える。

かつて「Mirror」シリーズにおいては、左半分を実物のモチーフを配置し、右半分にそれを反転させた絵を描いた。さらに「Idolization」シリーズにおいては、自らのパレットをモチーフに、それを描いているあいだに生まれたパレットをまた描く、ということをくり返し、「パレット」と「パレットの絵」を並べて展示した。いずれにしても、描いた「対象」と「表象」を並置し、その差異を呈示していたことから、杉本が単なるトロンプルイユ(だまし絵)——つまり、本物のように見えること——を目指しているわけではないことが分かる。

「YOU ARE GOD」シリーズにおいても、「箱庭」に使用された実際のミニチュアや砂を展示会場に配置している。また、「世界」の創造主(GOD)が——画家自身(I)ではなく——他者(YOU)であることによって「作者の意図」を排除しているのは、「Idolization」シリーズにおいて、無作為にできる副産物としてのパレットをモチーフに採ったこととも通底している。「他者」に委ねるにせよ「偶然」に任せるにせよ、自らのコントロールが及ばない、受動的な状況に身を投じることが、杉本にとって、描くための条件なのかもしれない。

そのとき画家を苦しめるのは、与えられたモチーフを描くのに、場合によっては途方もない手間や時間がかかることだろう。単に「パレット」や「箱庭」を記録するだけならば、写真に撮ればよい。しかし、そうではなく絵に描くことの意味は、他ならぬ「時間性」にあると言って好い。目の前にあるものに対し、それらのひとつひとつと不断に——寿命の一部を使って、という意味では死に近づきながら——向きあい続ける画家の仕事は、存在というものに最も深く向きあった哲学者の言葉と重なりあう。

だとすれば、画家が自らの半生を費やして蒐集したミニチュアを「リアル」に描こうとするのは、単なる愛玩からではなく、まさに存在の意味を理解するためなのだとと言える。その姿勢を「リアリズム」と呼ぶならば、それは「リアリティ」を追求するというような方法のことではなく、ましてや世界が私たちと関係なく——客観的に——実在するという考えかたのことでもない。むしろ、現に——今ここに——存在しているという関わりによって世界を理解しようとするのだ。私たちもまた、関心をもって杉本の絵を目の前にするとき、ただ写真に撮って満足してはならない。画家が絵を描くときと同じように——命がけで——とまではいかないにしても、時間をかけて見つめ続けること自体に意味があるのだから。

飯盛 希 (美術批評)



関係者各位

3/4

“ここに赤い箱のおモチャがあります。
40年ちかく前に僕が買ってもらったおモチャ。

箱の中には三角形、四角形、丸形、星形など様々な形があります。いわゆる「型はめボックス」で、知育玩具です。それから僕はたくさんのおモチャを集め、時にモチーフにしながらかき、また集めています。そのおモチャコレクションの原点が僕にとってこの「型はめボックス」なのです。

おモチャを箱の中で並べる「YOU ARE GOD」というシリーズを数年前から展開をしています。このシリーズは箱庭療法を引用しながら対象者に箱の中で、様々な種類のおモチャを使って、遊んでもらうことから、作品制作が始まります。対象者が創り出す箱の世界の物語を共有しながら、それらを僕自身が絵画に転換します。これまで子どもを対象者として作品を展開していましたが、今回はこれまでに出会った様々な肩書きの9名の成人を対象者としました。保育士、元教師、医師、研究者、証券会社員、テレビディレクター、アイドル、ホームレスの方々にご協力頂き、それぞれに箱の中の世界を創り出してもらいます。そしてそれぞれが創った世界に光を当て、絵画作品に翻訳します。

「YOU ARE GOD」というタイトルには、創造主は誰なのかという問いを含ませています。作品の作者は誰なのか、表現はどこに宿るのかを。誰かが作った愛らしいおモチャがあり、それらを並べて創った誰かの世界をなぞり、絵画にしながらかいています。

杉本克哉”



関係者各位

4/4

杉本克哉 *Katsuya Sugimoto*

- Profile

1984 栃木生まれ
 2007 東京学芸大学教育学部芸術文化課程美術専攻卒業
 2008 東京学芸大学大学院教育学研究科美術教育専攻修了
 2011 東京藝術大学大学院美術研究科芸術学専攻修了
- Solo Exhibitions

2022 差異 (NOHGA HOTEL UENO TOKYO/presented by 3331 Arts Chiyoda)
 2021 YOU ARE GOD (hpgrp GALLERY TOKYO)
 2018 Idolization (hpgrp GALLERY TOKYO)
 2017 From playing to praying (H.P.FRANCE WINDOW GALLERY MARUNOUCHI)
 2015 MIRROR | RORRIM (GALLERY KADOSAN)
 2013 みえる、みえない、みる、みない (Frantic Gallery)
- Selected Group Exhibitions

2024 土煙 SPOTS | あんたがたどこさ (NORA HAIR SALON/ 南青山)
 2023 パラレルモダンワークショップ | これは富士山である：登拝篇・遥拝篇
 2022 土煙 SPOTS | そのうちマイルストーン (NORA HAIR SALON/ 南青山)
 2020 ブレイク前夜展-小山登美夫セレクション-(HILLSIDE TERRACE)
 2019 STEP,SWAP,WIP,WHAT'S UP? (HARMAS GALLERY)
 2019 ブレイク前夜～次世代の芸術家たち～ (A/D GALLERY)
 2018 愛でるブレイク前夜展 Vol.3 (MEDEL GALLERY SHU)
 2018 ブレイク前夜～次世代の芸術家たち～ (Bunkamura Gallery)
 2017 NORA HAIR SALON 10th Anniversary Exhibition, NORA × HAISHAKKEI (NORA HAIR SALON/ 南青山)
 2016 銀ノ雫 - 序 - 尖光 (靖山画廊)
 2016 ざ・てわざ展 (日本橋三越)
 2015 NORA× 拝借景 -Unveil- (NORA HAIR SALON/ 表参道)
 2015 デコ借景 (茨城県取手市寺田邸拝借景)
 2015 LIONCEAUX PULUS 展 - 華咲け現代洋画の俊英たち - (日本橋三越)
 2014 火の無い処に煙を立てる。(茨城県取手市寺田邸拝借景)
 2014 LIONCEAUX PULUS 展 - 華咲け現代洋画の俊英たち - (日本橋三越)
 2014 Frantic Underline 2014 (Frantic Gallery)
 2014 NORA× 拝借景 (NORA HAIR SALON/ 表参道)
 2013 フィナーレ選抜奨励展 -輝く12の視座-(損保ジャパン東郷青児美術館)
 2013 LIONCEAUX PULUS 展 - 華咲け現代洋画の俊英たち - (日本橋三越)
 2013 TRANS ARTS TOKYO 2013 (錦町共同ビル 8F ART ROUND EAST)
 2012 ざ・てわざ展 (日本橋三越)
 2012 三越 × 藝大 (日本橋三越)
 2012 LIONCEAUX PULUS 展 - 華咲け現代洋画の俊英たち - (日本橋三越)
 2012 Concord -The link of rhythmical encounter-(NORA HAIR SALON/ 表参道)
 2012 祭りか山か? (茨城県取手市寺田邸拝借景)
 2011 東京藝術大学卒業・修了作品展 (東京藝術大学美術館)
 2011 芸大・茨大・筑波大 卒業修了制作選抜展 2011 (東海村ギャラリー)
 2011 Promised Color, Promised Land (art space/bar conflictable cube)
 2011 Frantic Underline 2011 (Frantic Gallery)
 2011 NORA× 拝借景 (NORA HAIR SALON/ 表参道)
 2011 LIONCEAUX PULUS 展 - 華咲け現代洋画の俊英たち - (日本橋三越)
 2010 拝借景・祭り (茨城県取手市寺田邸拝借景)
 2010 三越美術特選会 (日本橋三越)
 2010 第29回損保ジャパン美術財団選抜奨励展 (損保ジャパン東郷青児美術館)
 2010 三越美術逸品会 特集コーナーブース (ホテルニューオータニ)
 2009 東京藝術大学美術教育研究会展示発表 (東京藝術大学 大学会館)
- Art fair

2022 3331 ART FAIR 2022 (3331)
 2020 3331 ART FAIR 2020 (3331)
 2018 ART OSAKA (hpgrp GALLERY TOKYO)
 2017 3331 ART FAIR Prime Pick (hpgrp GALLERY TOKYO)
 2017 ART OSAKA (hpgrp GALLERY TOKYO)
 2015 Young Art Taipei (FUMA CONTEMPORARY TOKYO)
 2012 EMERGING DIRECTORS' ART FAIR ULTRA005 (Gallery 工房親)
 2011 SHContemporary Art Fair (Frantic Gallery)
- Award

2010 東京藝術大学 安宅賞受賞
 2010 第29回損保ジャパン美術財団選抜奨励展 損保ジャパン賞受賞

